

5 CUDの対応前と対応後

対応前と対応後の デザインの比較

CUDに対応することで・・・

CUDに対応することで、より多くの人に情報が伝わります。

デザインの質を落とさずに、混同色をさけて色を選ぶことができます。



C型



P型

対応前

- 高級感やインパクトを求めるときに、赤や黒を使用することがありますが、P型の色弱者にとって見分けにくいことがあります。緑と赤と黒を併用する時は特に注意が必要です。シンボルやイラストなどの図だけではなく店名やタイトルなどの文字情報が見づらくなる場合が多くあります。



C型



P型

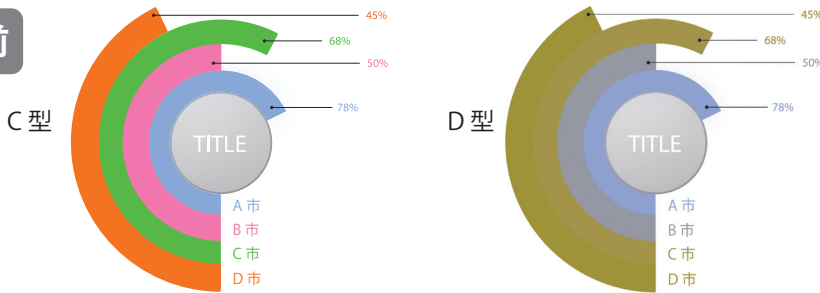
対応後

- 全体の印象を損なわずに、見やすくすることができます。赤のマゼンタを100%から80%（朱色）にしました。緑の色味を変え、背景の朱色と明度の差をつけました。トマトに線を付けました。線は白でなくてもトマトより明るい同系色なども有効です。また、文字も太い書体にしました。細い線、文字は色が見分けにくくなるので注意が必要です。

5 CUD・対応前と対応後

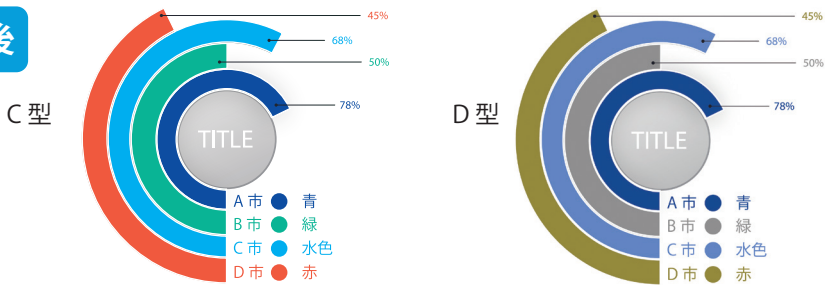
対応前と対応後のデザインの比較

対応前



- 混同色が多く使われ、見分けにくくなっています。全体で2～3色にしか見えません。

対応後

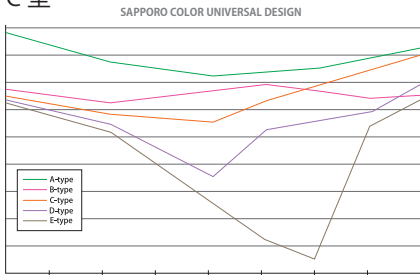


- 色弱者にも見分けやすい配色にし、線と線の間には細い白を入れました。円グラフの中と凡例に色名を入れることも有効です。

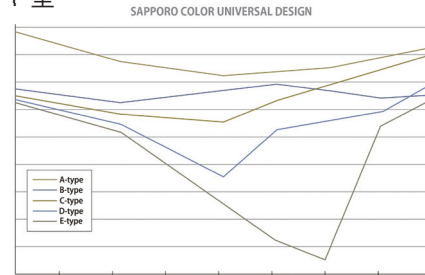
対応前

- C型には見分けやすい色も、色覚のタイプによっては見分けづらいです。

C型



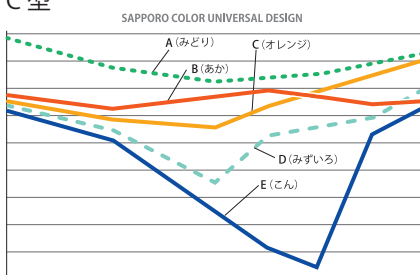
P型



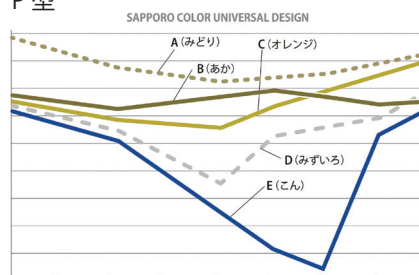
- 折れ線グラフの線が細いと色を見分けにくいです。凡例が線から離れていると色と項目の一致が難しいです。

対応後

C型



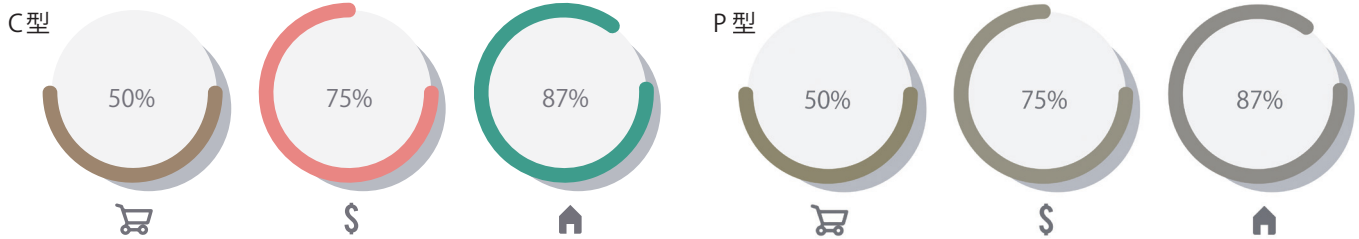
P型



- 対応後は、線を太くしました。見分けやすい色を選びました。線の太さに変化をつけたり破線などを使いました。線に直接、名前を付けました。線が交差するところは白の線でくくりました。

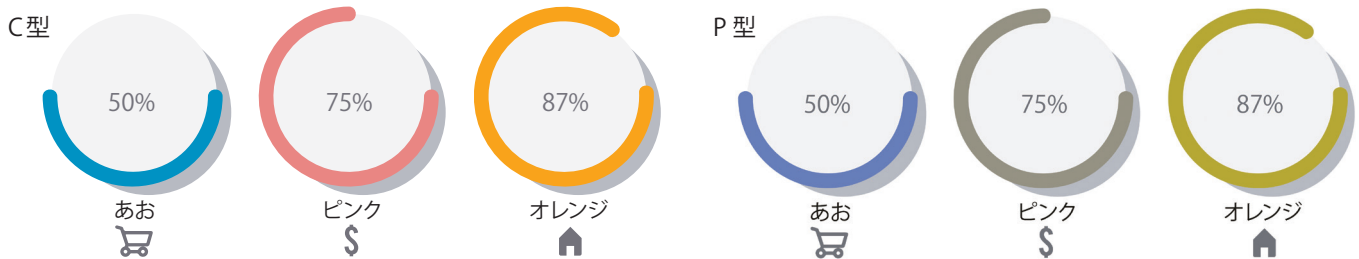
対応前

●グラフなどで色分けする時に、混同色を用いると区別がつかなくなる場合があります。



対応後

●混同色を避けて3色を選びました。色名を入れました。



対応前

●P型は日、祝日の赤が暗く沈んで見えます。文字が細すぎるとさらに黒と赤の区別がしにくくなります。日曜日は位置で分かるのですが、平日の中の祝日は見落としてしまう可能性があります。

C 型							P 型						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1	2	3	4	5	30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				27	28	29	30			

対応後

●全体的に文字を太くしました。祝日と休日の文字も太くしました。赤を朱に変えました。

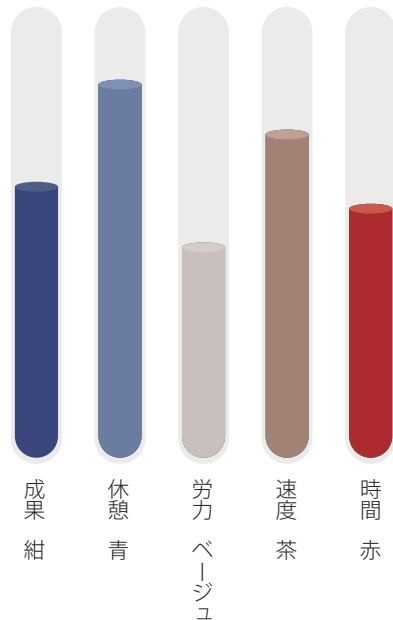
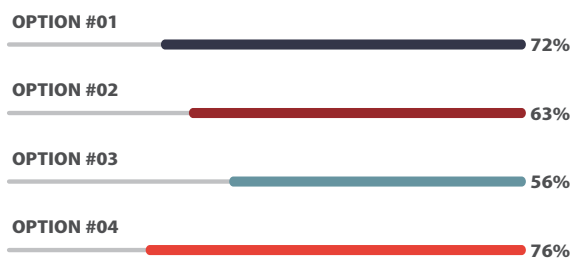
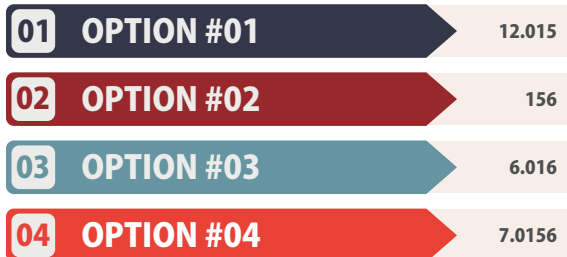
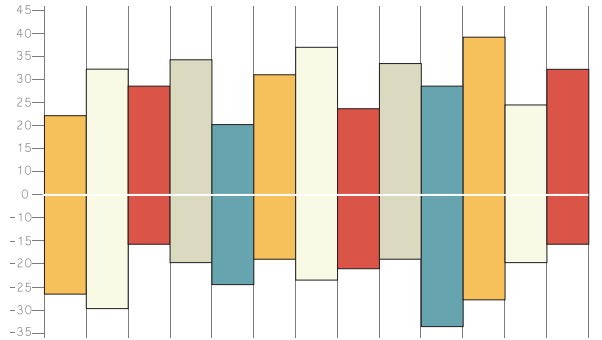
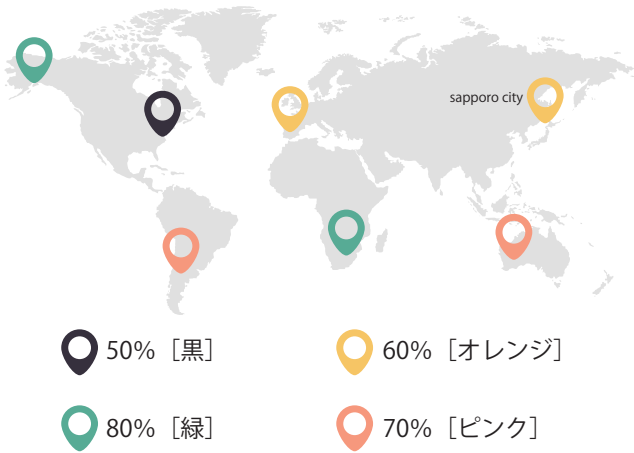
C 型							P 型						
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	31	1	2	3	4	5	30	31	1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12	6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19	13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26	20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30				27	28	29	30			

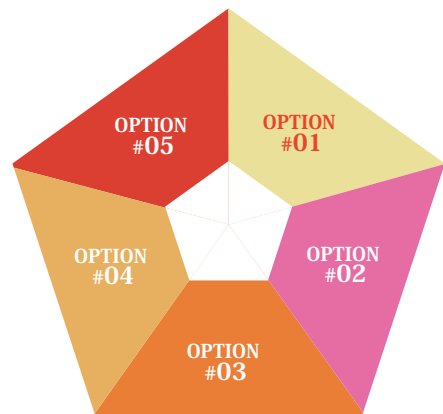
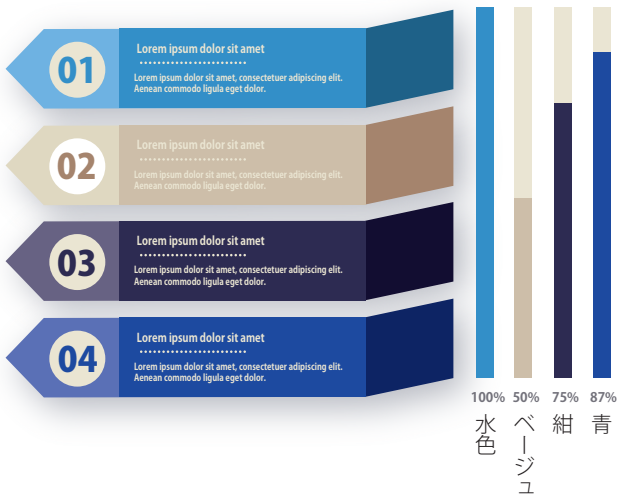
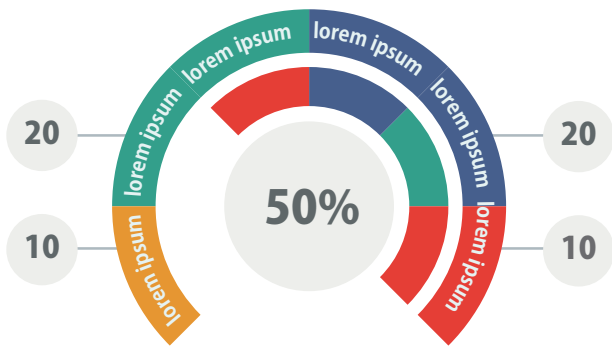
6 CUD・配色の工夫

見分けやすい 配色

見分けやすい配色で
カラフルなデザインを制作

CUDに対応することは色を制限することではありません。色弱者にも見分けやすい配色がたくさんあります。CUDに対応しつつカラフルなデザインができます。ここでは5色セットを8組選んで色彩豊かなデザインを試してみました。





6 CUD・配色の工夫

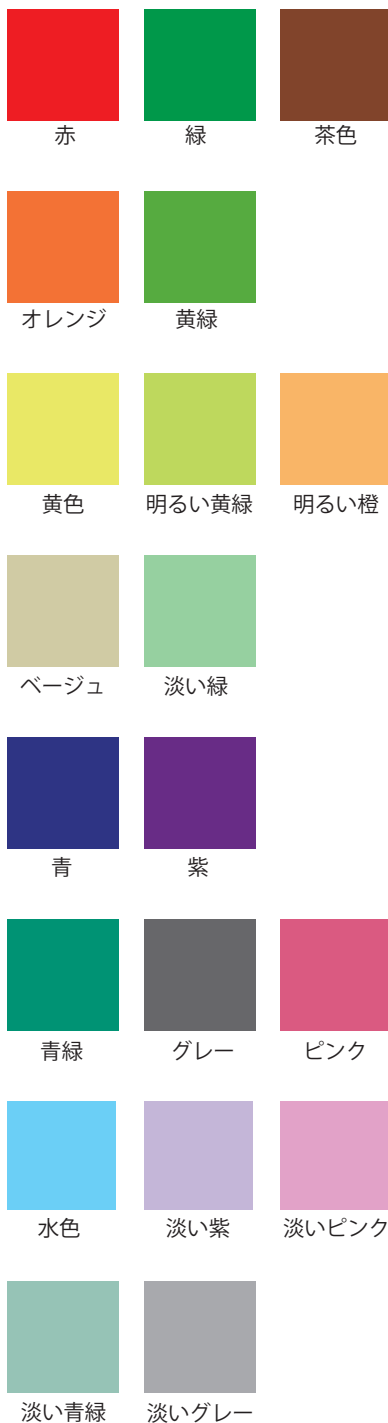
見分けにくい 配色

混同色を理解すること

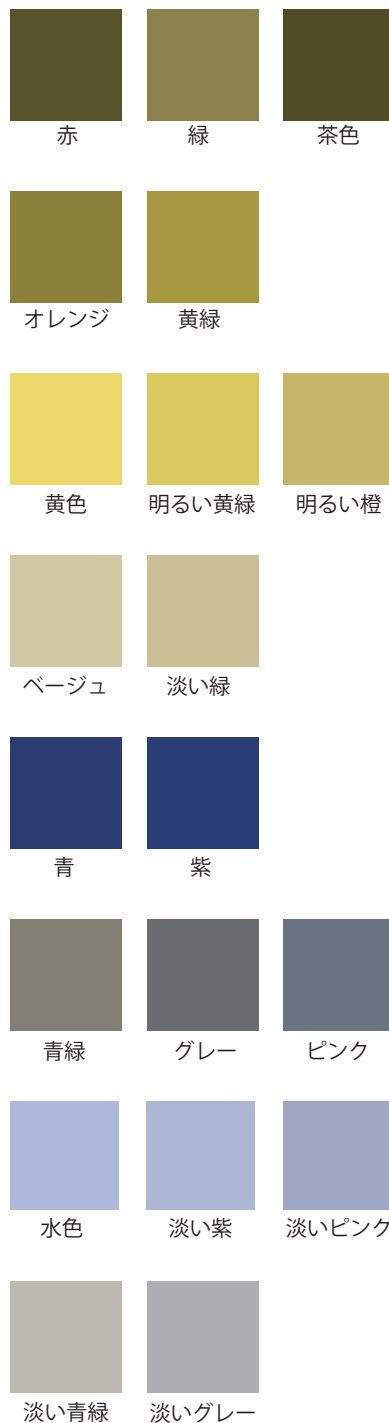
見分けにくい色の組み合わせの例

色を組み合わせる時は、C型、P型、D型の色の見え方をシミュレーションツールなどで確認し、できるだけ多くの人が見分けやすい配色を選びましょう。

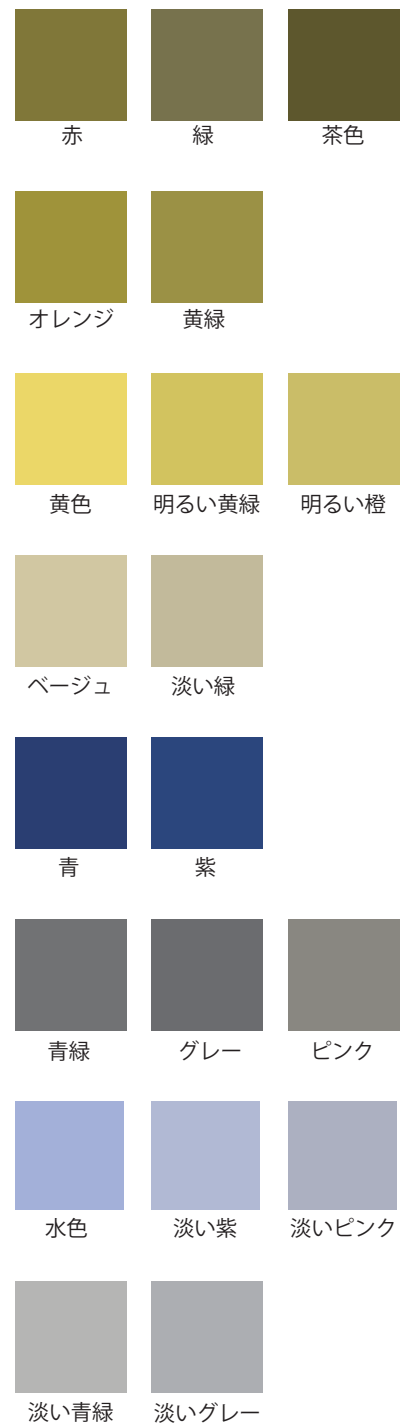
C型



P型



D型



6 CUD・配色の工夫

配色の判断

シミュレーションする際の 注意点

シミュレーションした結果が、どのくらいの差があれば大丈夫なのか迷うケースがあります。

その判断基準は、個人的な感覚によって動いてしまいます。例をあげましたので、これを参考にシミュレーションして配色を検討してください。

対応前

C型  文字 C70+Y100
背景 M40+Y80

P型  

D型  

対応前

C型  文字 C80+M60
背景 C40+M70

P型  

D型  

対応前

C型  文字 M80+Y70
背景 C70+Y85+K20

P型  

D型  

対応後

●文字の色を変えました。
文字に M25%を加え背景と区別しやすく改善

C型  文字 C70+M25+Y100
背景 M40+Y80

P型  

D型  

対応後

●背景色を変えました。
背景の C を -15%、M を -10%にして改善

C型  文字 C80+M60
背景 C25+M60

P型  

D型  

対応後

●背景色を変えました。
背景の C を +10%、Y を -25%+、K を 0 にして改善

C型  文字 M80+Y70
背景 C80+Y60

P型  

D型  

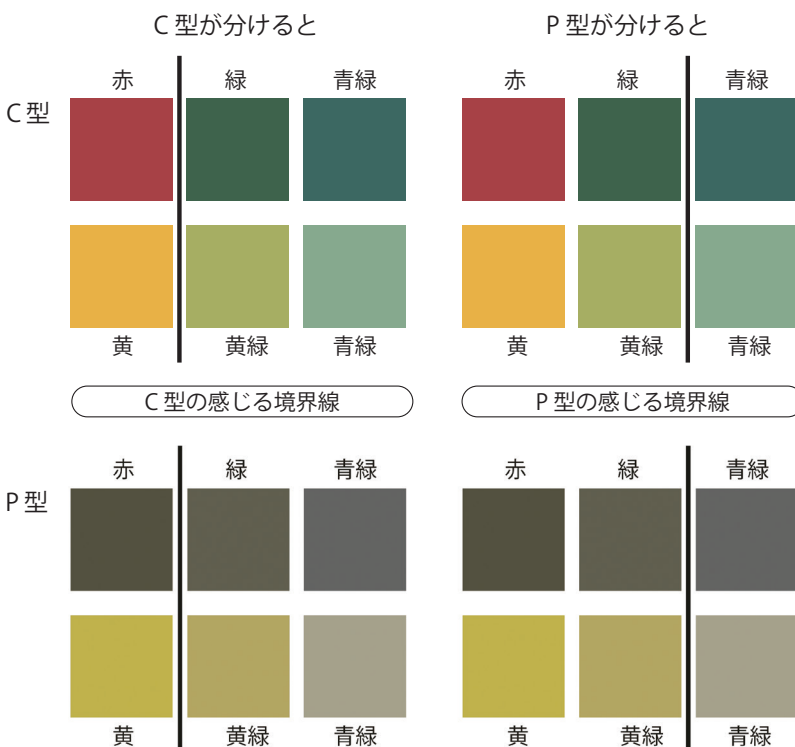
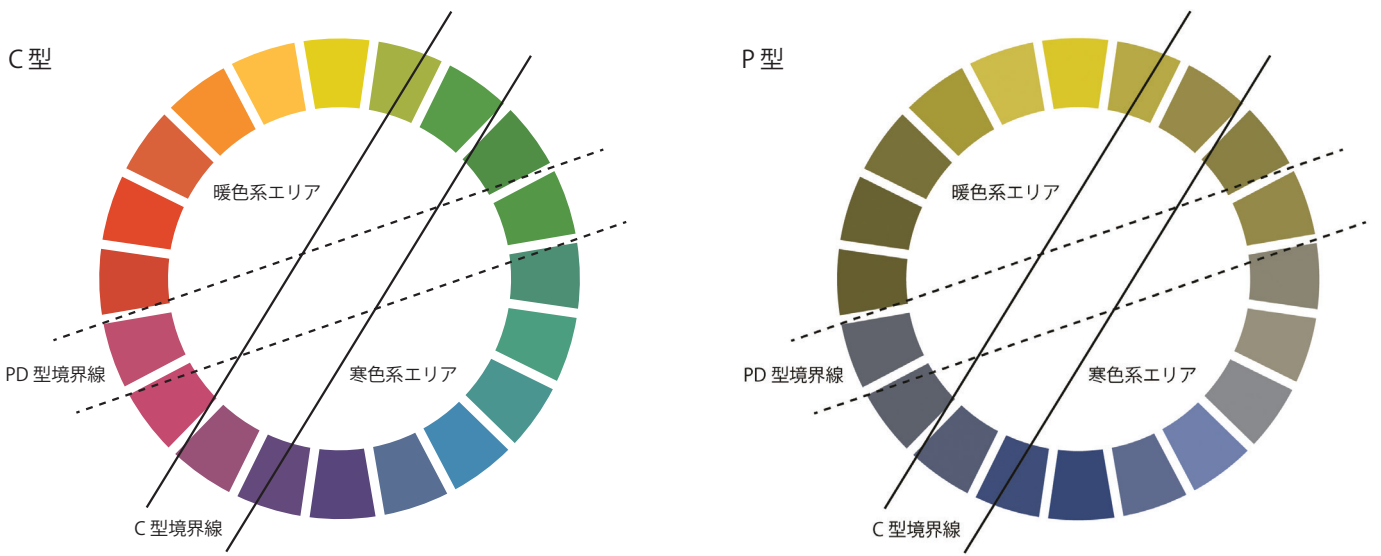
6 CUD・配色の工夫

暖色・寒色

異なる境界

下の図の通りC型とP型・D型の色覚では、暖色と寒色の境界が異なります。C型のデザイナーが暖かい雰囲気を表現しようとした暖色系の色が、P型・D型にとっては寒色に感じられる可能性もあります。この特性を理解した上でデザインしていくことが望まれます。

●色相環を暖色と寒色に分けてみると、色覚型によって違う分け方をします。



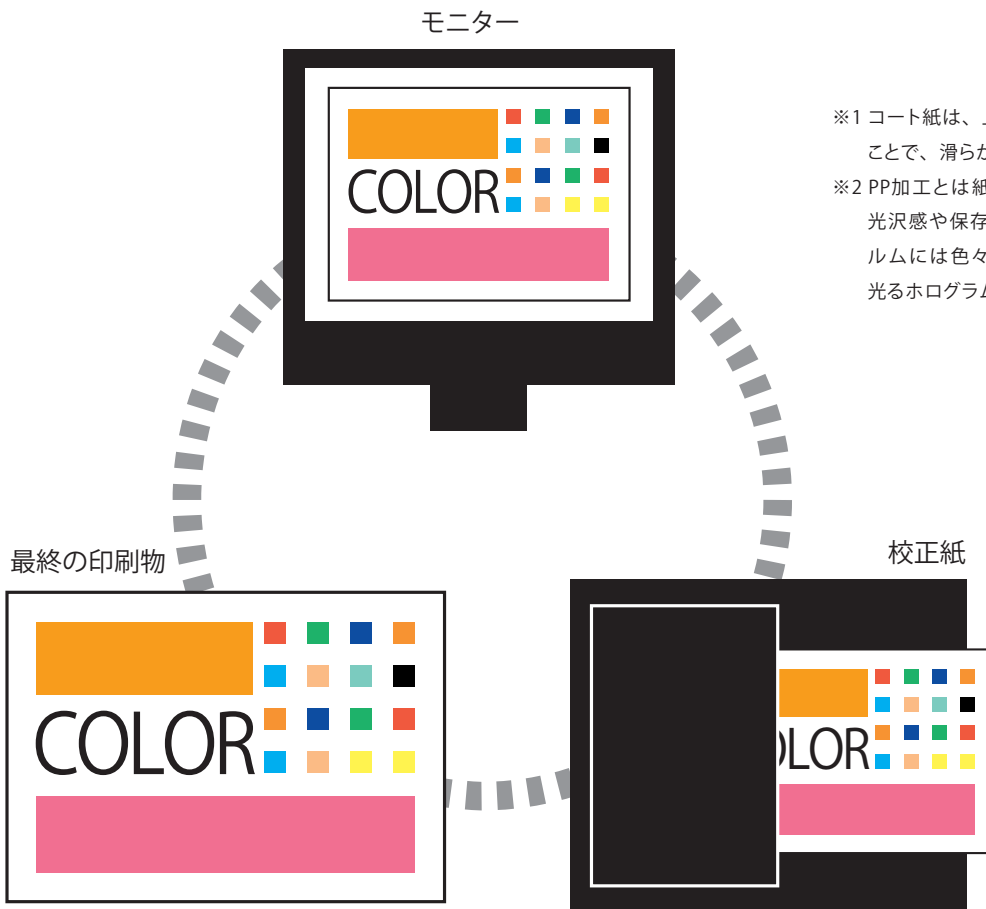
6 CUD・配色の工夫

色の管理について

モニターとプリントの色の差について

モニター画面の色と紙に印刷した色は異なります。モニターは発光の3原色(R赤・G緑・B青)、印刷は反射光の3原色(Mマゼンタ・Cシアン・Yイエロー)で、原理が異なるために起こります。画面上で試行錯誤し、シミュレーションし、ようやくOKとなっても、紙に印刷すると混同色が現れてしまうことも少なくありません。最終の印刷物と同程度の校正紙に出力し確認する工程が、より重要になります。

さらに、一般的なコート紙^{※1}以外で印刷する場合、その紙の種類によっても色は変化します。PP加工^{※2}などの後加工をする場合も同様で、印刷会社との事前打ち合わせが大切です。



※1 コート紙は、上質紙などの表面に特殊な薬品を塗ることで、滑らかにし、インクの乗りをよくした紙。

※2 PP加工とは紙の表面にフィルムを貼ることにより、光沢感や保存性を向上させることができます。フィルムには色々な種類があり、クリアPP、マットPP、光るホログラムPPなどがあります。

カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット ver. 4

多様な色覚に配慮し、色で情報を伝えるためのカラーパレットです。
塗装・印刷・画面表示の用途別にご活用ください。

色名	日塗工色票番号 (参考マンセル値)	C,M,Y,K値 R,G,B値	塗装用：日塗工色票番号／参考マンセル値 印刷用：CMYK値(4色プロセスカラー印刷、Japan Color準拠) 画面用：RGB値(sRGB準拠ディスプレイ)	※Ver.3から数値を一部変更しました。
----	----------------------	--------------------	---	----------------------

アクセントカラー

サイン・グラフなど小面積を
目立たせる高彩度色

赤	J08-50V (8.75R 5/12)	0,75,90,0 255,75,0
黄色	J27-85V (7.5Y 8.5/12)	0,0,100,0 255,241,0
緑	J46-60T (6.25G 6/10)	75,0,65,0 3,175,122
青	J72-40T (2.5PB 4/10)	100,45,0,0 0,90,255
空色	J69-70P (10B 7/8)	55,0,0,0 77,196,255
ピンク	J02-70T (2.5R 7/10)	0,55,35,0 255,128,130
オレンジ	J15-65X (5YR 6.5/14)	0,45,100,0 246,170,0
紫	J89-40T (10P 4/10)	30,95,0,0 153,0,153
茶色	J09-30H (10R 3/4)	55,90,100,0 128,64,0

代替色：塗装用のみ

代替黄	J27-90P (7.5Y 9/8)	
代替緑	J45-60L (5G 6/6)	

アクセントカラーが鮮やかすぎる場合に
使えるやや彩度を落とした色です。

ベースカラー

案内図・地図など広い面積の
塗り分けに用いる低・中彩度色

明るいピンク	J05-80L (5R 8/6)	0,25,15,0 255,202,191
クリーム	J25-90H (5Y 9/4)	0,0,40,0 255,255,128
明るい黄緑	J32-80P (2.5GY 8/8)	25,0,80,0 216,242,85
明るい空色	J69-80H (10B 8/4)	30,0,0,0 191,228,255
ベージュ	J19-75L (10YR 7.5/6)	0,25,45,0 255,202,128
明るい緑	J42-70H (2.5G 7/4)	45,0,45,0 119,217,168
明るい紫	J82-70H (2.5P 7/4)	25,30,0,0 201,172,230

無彩色

白	JN-93 (N 9.3)	0,0,0,0 255,255,255
明るいグレー	J75-80B (5PB 8/1)	15,10,10,0 200,200,203
グレー	J75-50C (5PB 5/1.5)	18,10,0,55 132,145,158
黒	JN-15 (N 1.5)	50,50,50,100 0,0,0

文字や細い線の印刷に用いる黒は、
版ズレを考慮してC,M,Y,K=0,0,0,0,100を
ご指定ください。

※色の組み合わせやサイズによって、見分けやすさは異なります。
※多くの色数を用意したため、比較の見分けにくい組み合わせも一部含まれます。
※色の感じ方の個人差や照明条件によって、見分けやすさには差が生じます。
※本配色セットの色とそれ以外の色を組み合わせる場合は、別途見分けやすさの
検証が必要になります。
※本配色セットは、今後ユーザーからのご意見を参考に更新する可能性があります。

比較の見分けやすい組み合わせ

アクセントカラー	塗装	印刷	画面
6色 オレンジ 黄色 緑 青 空色 茶色 赤 オレンジ 黄色 緑 青 空色 赤 オレンジ 黄色 緑 紫 空色	○	○	○
5色 赤 黄色 緑 青 空色 オレンジ 黄色 緑 空色 紫 オレンジ 黄色 緑 空色 茶色 オレンジ 黄色 青 空色 茶色 黄色 青 ピンク 空色 茶色	○	○	○
4色 赤 黄色 緑 空色 赤 黄色 青 空色 赤 緑 青 空色 オレンジ 黄色 紫 空色 オレンジ 緑 紫 空色 黄色 紫 空色 ピンク	○	○	○

ベースカラー	塗装	印刷	画面
4色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 明るい空色 明るいピンク クリーム 明るい空色 明るい紫 ベージュ クリーム 明るい空色 明るい紫	○	○	○
3色 明るいピンク クリーム 明るい紫 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 クリーム 明るい緑 明るい空色 クリーム 明るい緑 明るい黄緑 クリーム ベージュ 明るい空色 クリーム ベージュ 明るい紫	○	○	○

アクセントカラー×ベースカラー	塗装	印刷	画面
6色 オレンジ 黄色 青 茶色 明るい緑 明るい空色 オレンジ 緑 空色 茶色 明るいピンク クリーム オレンジ 緑 茶色 明るいピンク クリーム 明るい空色 オレンジ 緑 茶色 明るいピンク クリーム 明るい紫 オレンジ 青 空色 茶色 明るいピンク クリーム オレンジ 青 茶色 明るいピンク クリーム 明るい空色 オレンジ 青 茶色 明るいピンク クリーム 明るい紫 青 空色 ピンク 茶色 クリーム 明るい黄緑 青 空色 茶色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 赤 緑 空色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 赤 青 空色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑 緑 空色 茶色 明るいピンク クリーム 明るい黄緑	○	○	○

※塗装用、印刷用、画面用は媒体ごとの色再現特性に応じてそれぞれ色合いを
調整しているため、色調は微妙に異なります。
※上記の色はイメージです。正確な色見本は、塗装用は日本塗料工業会発行のJPMA
塗料用標準色(2017年J版)、印刷用は『カラーユニバーサルデザイン推奨配色
セットガイドブック(第2版)』の冊子をご覧ください。
※CMYK値は標準的なコート紙でのJapan Color 2011準拠のオフセット印刷、RGB値は
sRGB規格でキャリブレーションした液晶ディスプレイでの表示色を基準に値を設
定しています。それ以外の紙質・印刷条件やキャリブレーションされていない表示機
器では、大きく色が異なる場合がありますのでご注意ください。

本配色セットは、カラーユニバーサルデザイン推奨配色セット制作委員会(※)が共同で研究・開発しました。 ※ケルン大学・東京大学 伊藤啓/一般社団法人日本塗料工業会(JPMA)/DIC株式会社・DICグラフィックス株式会社・DICカラーデザイン株式会社/特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)/石川県工業試験場 前川満良
詳細や使用方法をまとめたガイドブックを発行しています。PDF版ダウンロードや最新情報はホームページをご覧ください。http://www.cudo.jp/colorset/

特長

① 様々な色覚の人に見分けやすいこと

一般的な色覚の人だけでなく、色の感じ方が異なる色弱やロービジョンの人にも違いが見分けやすいように色を選びました。赤と緑、ピンクと空色など、色弱やロービジョンの人には見分けにくいのが一般に使用されることが多い組み合わせを、なるべく見分けやすくするように色あいを微調整しています。

② 色名を想起しやすいこと

赤やピンクなどの「色名」を使ってコミュニケーションできるように、日常的に使われる色名で表現しやすい色を選びました。

③ 塗装・印刷・画面でそれぞれ再現可能で、かつ同じような色に感じられること

塗装や印刷、デジタル機器の画面では、再現可能な色の範囲が異なります。本配色セットの色は、それぞれの媒体で実際に再現可能な範囲から選定しました。また、同じ案内やサインを異なる媒体で表示しても同じような色に感じられるように微調整しました。

④ 実用的で分かりやすい方法で色を指定できること

デザインの現場で、塗装・印刷・画面の色指定に一般的に使われている方法で数値を指定しました。

✕ 見分けにくい組み合わせ

アクセントカラー	塗装	印刷	画面
紫	茶色	✕	✕
紫	青	✕	△
ピンク	オレンジ	✕	✕
ピンク	緑	△	✕
赤	オレンジ	△	△
赤	紫	△	△
赤	茶色	△	△
代替緑	ピンク	✕	△

ベースカラー	塗装	印刷	画面
明るいピンク	明るい緑	✕	✕
明るいピンク	ページ	✕	△
明るいピンク	明るい黄緑	△	△
ページ	明るい黄緑	✕	△
ページ	明るい緑	✕	△
ページ	クリーム	✕	△
明るい紫	明るい緑	✕	△
明るい紫	明るい空色	✕	△
明るい紫	明るい黄緑	△	△
明るい黄緑	クリーム	△	△
明るい黄緑	明るい空色	△	△

アクセントカラー×ベースカラー	塗装	印刷	画面
黄色	明るい黄緑	✕	✕
空色	明るい紫	✕	✕
空色	明るい緑	△	△
ピンク	明るい緑	✕	✕
ピンク	ページ	✕	△
オレンジ	明るい黄緑	△	△
代替黄	明るい黄緑	△	△

無彩色×アクセントカラー・ベースカラー	塗装	印刷	画面
白	クリーム	✕	✕
白	代替黄	✕	✕
白	黄色	△	△
明るいグレー	明るい空色	✕	△
明るいグレー	明るい紫	✕	△
明るいグレー	明るい黄緑	✕	△
明るいグレー	明るいピンク	△	△
明るいグレー	明るい緑	△	△
明るいグレー	黄色	△	✕
グレー	緑	✕	✕
グレー	紫	✕	△
グレー	茶色	✕	△
グレー	青	✕	△
グレー	ピンク	△	△
グレー	明るい紫	△	△
グレー	代替緑	△	△
黒	茶色	✕	✕
黒	紫	△	△

同系色濃淡	塗装	印刷	画面
赤	ピンク	△	✕
ピンク	明るいピンク	✕	△
オレンジ	ページ	✕	✕
黄色	クリーム	✕	✕
緑	明るい緑	✕	✕
空色	明るい空色	✕	✕
白	明るいグレー	△	△
黒	グレー	△	△
代替緑	明るい緑	✕	✕
代替黄	クリーム	✕	✕

※色弱やロービジョンの人が一般的に間違えやすい色の組み合わせではありません。

△：やや見分けにくい組み合わせ
 ✕：見分けにくい組み合わせ
 /：塗装用以外は該当なし

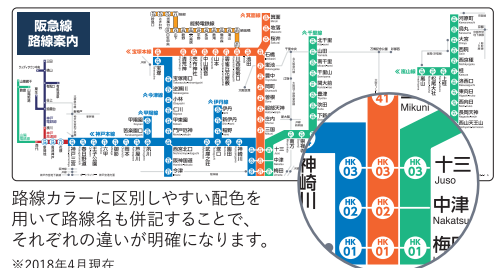
推奨配色セット使用例

塗装例 案内サイン



見分けやすい配色により、情報の違いを直感的に理解でき、スムーズな移動が可能になります。

印刷例 路線案内図 (阪急電鉄株式会社/大平印刷株式会社)



路線カラーに区別しやすい配色を用いて路線名も併記することで、それぞれの違いが明確になります。

※2018年4月現在

画面例 ナースコール (ケアコム株式会社)



区別しやすい色のポップアップ表示により、ナースステーションで情報の違いが瞬時に把握できます。

Webサイト制作時のポイント

コントラスト比

ウェブアクセシビリティのルールでは、背景と文字は最低でも「4.5 : 1」のコントラスト比が必要とされています。コントラスト比は12ページ掲載のアドビ株式会社の「Adobe Color」で手軽に確認することができます。

コントラスト比 2.0 : 1	あいうえお
コントラスト比 4.5 : 1	あいうえお
コントラスト比 7.0 : 1	あいうえお

対応前

C型

お知らせ

2022年3月 役員人事異動のお知らせ
2022年2月 新クラウドサービスリリース
2021年9月 **SDGsの取り組みについて**

D型

お知らせ

2022年3月 役員人事異動のお知らせ
2022年2月 新クラウドサービスリリース
2021年9月 SDGsの取り組みについて

対応後

- 目立たせたい箇所は文字色を見分けやすい色にするほか、書体を太くしたり、「重要」などのアイコンを配置をするとよいでしょう。

C型

お知らせ

2022年3月 **新着** 役員人事異動のお知らせ
2022年2月 **新着** 新クラウドサービスリリース
2021年9月 **重要** SDGsの取り組みについて

D型

お知らせ

2022年3月 **新着** 役員人事異動のお知らせ
2022年2月 **新着** 新クラウドサービスリリース
2021年9月 **重要** SDGsの取り組みについて

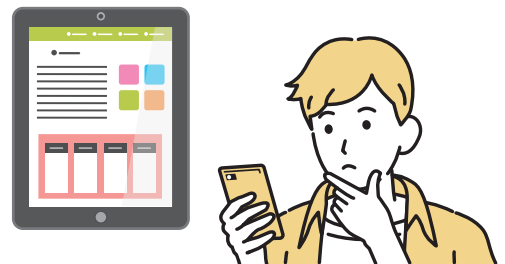
Web 特有の対応

色覚タイプをはじめ、誰もが分け隔てなくWebで提供されている情報にアクセスし利用できるようにすることを「ウェブアクセシビリティ」と言います。基本的に対応すべきポイントは通常の印刷物でのデザインと同じですが、Webの場合は特に明暗差(コントラスト比※)に配慮する必要があります。また、アイコン等も組み合わせで色だけに頼らない工夫もしましょう。

※コントラストの適合レベル、達成基準を定めたJIS X 8341-3:2016という規格があります。

スマートフォン利用を想定しておく

Webサイト利用者の多くはスマートフォンで閲覧することになります。スマートフォンでの表示を前提にしてデザインしておきましょう。パソコンでは問題がなくとも、スマートフォン上で縮小されてしまうと、色の区別がしづらくなる場合がありますのでデザインの配慮が必要です。特にスマートフォンでは文字が小さくなりがちなので、先に述べたコントラスト比に気をつかう必要があります。



- パソコン画面だけでなくスマートフォンで閲覧した際の文字の読みやすさも十分考慮する必要があります。

運用も見据えた 色使いのルール化が有効

Webサイトは通常の印刷物と異なり、常に情報を更新する必要があります。Webサイト内で使用する色使いのルールをつくりましょう。そのルールに基づいた色使いで更新していけば、その都度、色の見直しをする必要がなくなり効率的です。また、マウスオーバーなどのアクション時に色や明るさを変えるルールも必要です。

注意

Webサイトは、パソコンやスマートフォンなどの画面で見られるため、制作する際に印刷した印刷紙媒体でシミュレーションしても正しい結果は得られません。色のチェックをする際には、キャリブレーション※したモニター上で確認してください。

※キャリブレーションとはディスプレイの色温度・輝度・カラーバランスを適正に調整することです。ディスプレイは長く使用すると色が変わります。一定の使用時間毎に適正に調整する必要があります。

●黒と暗い赤や淡い青、ピンク、グレーはP型にとって非常に見分けづらいことがあります。タイトルや文字情報、ボタンデザインなどに配慮が必要です。改善策として、赤を朱色に変更したり文字の周りを白でくると情報が伝わりやすくなります。

対応前

- メニューバーなどの色分けに混同色を使わないように注意が必要です。
- マウスオーバーでボタンの文字色や背景の色が変わるように設定した時、混同色を使ってしまうと文字が読めなくなる場合があります。

C型



D型

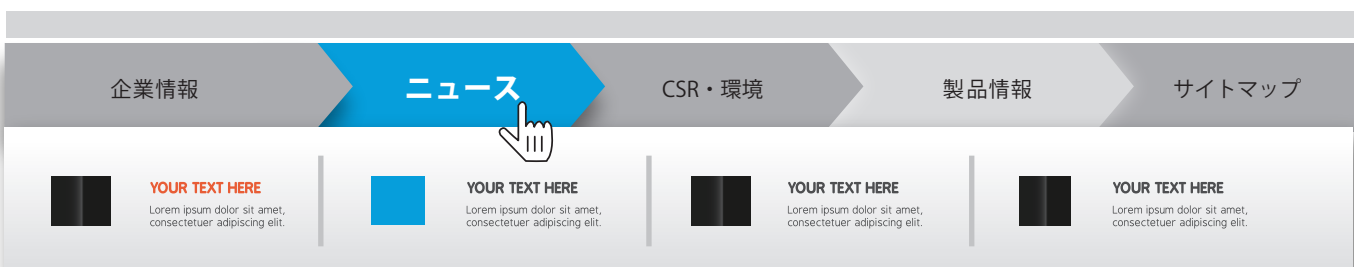


対応後

- トップページのメニューバーなどの色分けに細い線を使わず、できるだけ色面を大きくします。また、必要以上に色数を使わないことも重要です。見分けやすい色を使い、文字との明度差をつけることで文字情報が見やすくなります。



- メニューの項目を見分けやすい色にしました。マウスオーバー時に、文字が太く大きくなり、明度差のある色に変化しました。



8 その他のCUD

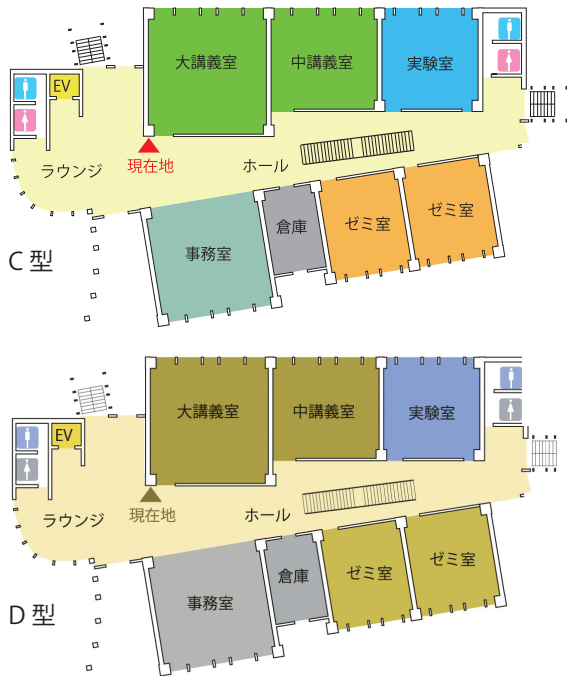
サイン・ピクト 制作時のポイント

サイン

建築物に関して注意しなければならないのは、主に案内サインです。特に、たくさんの人が利用する公共性の高い施設などでは、色への配慮が欠かせません。避難経路図やフロアマップを制作する際には、混同する色がないかを確認するだけでなく、伝えたい情報の優先順位も考慮することが求められます。

対応前

- エリアの色分けが混同色のため、場所が特定できません。現在地の表示が目立ちません。トイレのピクトも混同色になっています。



対応後

- 見分けやすい配色を使用しました。現在地は赤を朱赤に変え、さらに明度の差があるデザインに変更しました。



JIS (日本産業規格) の安全色

JISの安全色が2018年の改正で多様な色覚に対応した区別しやすい色に変わりました。CUDの観点で安全色を定めたのは世界初となります。

●JIS安全色 マンセル 参考値 / CMYK・RGB推奨値
<http://safetycolor.jp>



(赤) 8.75R 5/12
C0 M85 Y95 K0
R255 G75 B0



(橙) 5YR 6.5/14
C0 M50 Y100 K0
R246 G170 B0



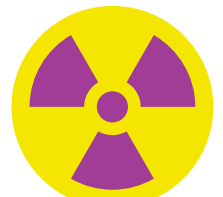
(黄) 7.5Y 8/12
C0 M0 Y100 K5
R242 G231 B0



(緑) 5G5.5/10
C85 M0 Y80 K0
R0 G176 B107



(青) 2.5PB 4.5/10
C95 M40 Y0 K0
R25 G113 B255



(赤紫) 10P 4/10
C40 M90 Y0 K0
R153 G0 B153

8 その他のCUD

日常場面でのCUD

C型

私たちの周りには、たくさん色が溢れています。分かりやすくしようと色そのものに様々な情報や意味を持たせる例が多く見られます。印刷物、ホームページ、路線図、案内サインなどは情報を強調・分類・整理する目的で色分けされます。ところが、その色の組み合わせによっては、いわゆる「色弱」の方々などへ情報が伝わりにくくなったり混乱を招くこともあります。

多数派色覚であるC型（いわゆる正常）だけでなく、少数派色覚であるP型、D型（いわゆる色弱）にも配慮された、全ての人に優しい色彩環境への転換が急務です。戦前・戦後にかけて、P型、D型への理解不足から様々な誤解が拡大され、社会が彼らの困りごとや不便に耳を傾けることもありませんでした。多様な色覚は背の高さ、血液型、目の色と同様に人の遺伝子に組み込まれている特性です。私たちは多数派と少数派が互いの色覚を認め合う「この色が伝わる社会」の実現を目指して活動を続けていきます。

P型

私たちの周りには、たくさん色が溢れています。分かりやすくしようと色そのものに様々な情報や意味を持たせる例が多く見られます。印刷物、ホームページ、路線図、案内サインなどは情報を強調・分類・整理する目的で色分けされます。ところが、その色の組み合わせによっては、いわゆる「色弱」の方々などへ情報が伝わりにくくなったり混乱を招くこともあります。

多数派色覚であるC型（いわゆる正常）だけでなく、少数派色覚であるP型、D型（いわゆる色弱）にも配慮された、全ての人に優しい色彩環境への転換が急務です。戦前・戦後にかけて、P型、D型への理解不足から様々な誤解が拡大され、社会が彼らの困りごとや不便に耳を傾けることもありませんでした。多様な色覚は背の高さ、血液型、目の色と同様に人の遺伝子に組み込まれている特性です。私たちは多数派と少数派が互いの色覚を認め合う「この色が伝わる社会」の実現を目指して活動を続けていきます。

D型

私たちの周りには、たくさん色が溢れています。分かりやすくしようと色そのものに様々な情報や意味を持たせる例が多く見られます。印刷物、ホームページ、路線図、案内サインなどは情報を強調・分類・整理する目的で色分けされます。ところが、その色の組み合わせによっては、いわゆる「色弱」の方々などへ情報が伝わりにくくなったり混乱を招くこともあります。

多数派色覚であるC型（いわゆる正常）だけでなく、少数派色覚であるP型、D型（いわゆる色弱）にも配慮された、全ての人に優しい色彩環境への転換が急務です。戦前・戦後にかけて、P型、D型への理解不足から様々な誤解が拡大され、社会が彼らの困りごとや不便に耳を傾けることもありませんでした。多様な色覚は背の高さ、血液型、目の色と同様に人の遺伝子に組み込まれている特性です。私たちは多数派と少数派が互いの色覚を認め合う「この色が伝わる社会」の実現を目指して活動を続けていきます。

蛍光ペン

色分けに便利な蛍光ペンですが、「イエロー系、グリーン系、オレンジ系」「ブルー系、ピンク系」が混同色で、P型、D型には見分けにくいことがあります。

また、ピンクは暗く見えやすいので、ペンを選ぶ時は注意しましょう。

色名を書いてCUD

配布資料やチラシに使われる色上質紙。見やすいところに色名を書くと、色が見分けにくい場合でも迷わずその色の紙を見つけることができます。

C型



P型



D型

